

平成30年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (中学校)

教科ごとの「教科の観点」・「読み解く力」における平均正答率の比較

東葛西中学校

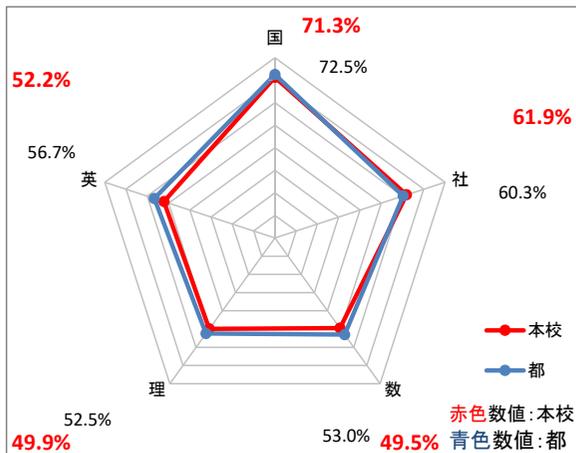
国語	教科の観点						読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	92.5%	68.1%	78.0%	70.5%	70.1%	73.2%	85.8%	64.2%	62.4%	69.2%	72.5%
本校	91.0%	68.4%	79.1%	67.8%	69.3%	72.0%	86.0%	64.7%	54.8%	67.5%	71.3%
都との差	-1.5	0.3	1.1	-2.7	-0.8	-1.2	0.2	0.5	-7.6	-1.7	-1.2

社会	教科の観点					読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	94.4%	59.9%	57.6%	62.0%	62.9%	62.9%	42.9%	46.8%	50.9%	60.3%
本校	92.6%	64.0%	59.0%	65.7%	65.3%	69.1%	38.2%	45.7%	49.3%	61.9%
都との差	-1.8	4.1	1.4	3.7	2.4	6.2	-4.7	-1.1	-1.6	1.6

数学	教科の観点					読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	77.6%	41.6%	53.9%	58.8%	55.6%	49.6%	49.3%	35.4%	45.4%	53.0%
本校	75.5%	38.4%	49.9%	54.7%	51.8%	42.2%	54.4%	33.4%	42.7%	49.5%
都との差	-2.1	-3.2	-4.0	-4.1	-3.8	-7.4	5.1	-2.0	-2.7	-3.5

理科	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	86.7%	45.7%	61.4%	46.8%	53.4%	78.7%	49.8%	19.5%	49.4%	52.5%
本校	83.1%	41.5%	57.7%	45.0%	50.5%	80.9%	33.8%	19.5%	48.2%	49.9%
都との差	-3.6	-4.2	-3.7	-1.8	-2.9	2.2	-16.0	0.0	-1.2	-2.6

英語	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	82.6%	31.7%	69.5%	59.3%	60.2%	45.2%	52.9%	37.4%	45.2%	56.7%
本校	74.1%	16.8%	68.4%	56.3%	55.0%	47.1%	48.5%	32.7%	43.0%	52.2%
都との差	-8.5	-14.9	-1.1	-3.0	-5.2	1.9	-4.4	-4.7	-2.2	-4.5



《都との比較にみる本校の状況》

国語：教科の観点に関する内容は、全体としては都の平均とほぼ近くなっている。教科の観点ごとの項目では話す・聞く能力及び各能力はとの平均を上回っているが、その他の項目ではとの平均を下回っている。読み解く力に関してもの平均に近い値が出ているが意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力が大きく下回っている。

社会：全体としては、との平均を上回っている。読み解く力の必要な情報を正確に取り出す力は大きく平均を上回っているが、比較・関連付けて読み取る力は下回っている。

数学：都の平均を下回っている。特に必要な情報を正確に取り出す力に関する回答の正答率が7ポイント下回っている。都の平均値を下回っている。

理科：全体としてとの平均を下回っている。理科的な経験不足からか、科学的な思考・表現、観察・実験の技能の項目が都の平均より低くなっている。読み解く力の必要な情報を正確に取り出す力についてはとの平均を上回っている。

英語：全体としてとの平均を下回っている。特に教科の観点の関心、

《授業改善のポイント》

調査の結果から、生徒の学習に対する興味・関心・態度が都の平均を下回っている教科が多い。学習に対する意欲の向上が今後の課題である。「学び合い」学習を継続するとともに、各教科の単元のわらいなどを明確にし、生徒に学ぶ意味が理解できるような「分かる授業」を意識した授業展開を目指す。生徒の中には「めんどくさい」「できない」という最初からあきらめている言葉も聞かれる。各教科の基礎・基本となる事項について徹底し、それを活用した課題解決能力を身に付けさせる。「わかる喜び」「できる喜び」を感じさせ各教科自信を持って取り組むことにより学習する喜びを体験させるとともに、「学び合い」の中で、個々の躓きを明らかにできるような質問方法や学習教材の工夫を組織的に構築することにより、学習意欲を向上させ、個々の学力向上を目指していく。

《家庭・地域への働きかけ》

教科への関心が高い生徒が多く、正答率も平均値に近い値を示している。全体的な学習内容を定着させることが課題となる。課題解決の手立ての一つが家庭での学習習慣を身に付けることであることから、各家庭における学習習慣の定着への支援をお願いする。